

病害防除の幅を広げる 新しい視点

既存薬剤の耐性菌にも効果的な新系統(殺菌剤分類:11A)の殺菌剤

新規サブグループ
唯一の殺菌成分

主要病害に
高い効果



新規殺菌剤

パビンコ[®]フロアフル

Powered by Pavecto[®] Active

BASF

We create chemistry

待望の新系統※で耐性菌にも優れた効果！

新規殺菌成分「メチルテトラプロール」配合

- ※FRACコード新規サブグループ「11A」に分類される新規有効成分です
- 既存耐性菌に対しても優れた効果を有し、既存薬剤に対し耐性を持つ病害の防除にも有効です

茶の主要病害に高い効果

- 茶の主要病害である「炭疽病」をはじめ、「輪斑病」「新梢枯死症」に対し優れた効果を発揮します
- 発生初期に散布することで安定した予防効果と治療の効果が期待できます

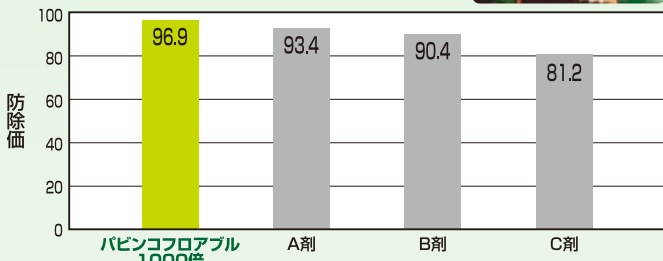
適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルテトラプロールを含む農業の総使用回数
茶	炭疽病、輪斑病、新梢枯死症	1000倍	200~400ℓ	摘採14日前まで	2回以内	散布	2回以内
りんご	黒星病、黒点病、炭疽病、斑点落葉病、すす点病、すす斑病、褐斑病、輪紋病		200~700ℓ	収穫前日まで	3回以内		3回以内
てんさい	褐斑病		100~300ℓ				

茶の主要病害への試験事例

炭疽病への防除効果

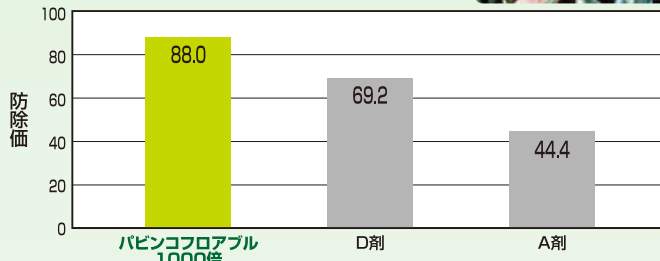
2023年 BASFジャパン株式会社 社内試験(静岡県牧之原市)



品 種：やぶきた(46年生) 無処理の平均発病葉数(枚/m²): 83(中発生)
区 制：9m²/区、3連制 試験方法：供試薬剤を200ℓ/10aの割合で
処理月日：9月14日、19日 散布した。各調査日に発病葉数を
調査月日：10月3日(最終残布13日後)、 摘み取り、1m²当たりの累計の発病
10月18日(最終散布28日後) 葉数を算出して防除値を求めた。

新梢枯死症への防除効果

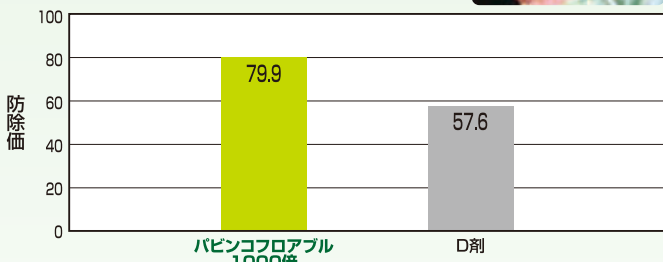
2023年 BASFジャパン株式会社 社内試験(静岡県牧之原市)



品 種：やぶきた(46年生) 無処理の平均発現枝数(本/m²): 4.9(少発生)
区 制：9m²/区、3連制 試験方法：バッテリー式背負噴霧器にて十分量
処理月日：7月25日、8月1日(3番茶生育期) 散布。調査日に発現枝数を摘み取り、
調査月日：8月29日(最終散布28日後) 1m²当たりの発現枝数を算出して
防除値を求めた。

輪斑病(QoI低感受性菌)への防除効果

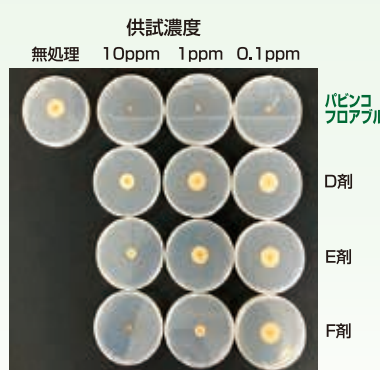
2023年 BASFジャパン株式会社 社内試験(静岡県牧之原市)



品 種：やぶきた(46年生) 無処理の平均発病葉数(枚/m²): 93(中発生)
区 制：9m²/区、3連制 試験方法：供試薬剤を200ℓ/10aの割合で
処理月日：7月25日(摘採当日) 散布した。各調査日に発病葉数を
調査月日：8月18日(散布24日後) 摘み取り、1m²当たりの累計の発病
葉数を算出して防除値を求めた。

輪斑病菌(QoI低感受性菌)への薬剤希釈平板培地による菌叢生育阻害試験

2024年 BASFジャパン株式会社 アグンリュージョンファーム東



【試験方法】
(i)所定濃度を希釈したPDA培地をシャーレへ流し込み。
(ii)前培養した菌叢外縁部をコルクボーラーで打ち抜き、含菌片を処理培地中央部に静置。
(iii)25℃、全暗条件で6日間培養し、菌叢直径を計測。無処理区の値から菌叢生育阻害率を算出。

パビンコフロアブルは全ての供試濃度で非常に高い阻害効果を示した。

△効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪播で使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法にあわせて調節してください。
- 散布液調整後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 室に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にからないようにしてください。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

△安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(弱い刺激性)。
- 皮膚に付着しないように注意してください。皮膚に付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす(刺激性)。
- 散布時は、農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをし、衣服を換えてください。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は作業しないでください。施用した作物などに触れないでください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

保管…食品と区別して、直射日光のあたらない冷涼・乾燥した所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は園場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2026年4月の知見に基づいて作成されています。

